

# 小学校第6学年

# 国語

## 注意

- 1 先生の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 調査問題は、1ページから18ページまであります。問題用紙のあいている場所は、下書きや計算などに使用してもかまいません。
- 3 解答用紙は、両面に解答らんがあります。解答は、全て解答用紙に書きましょう。
- 4 解答は、HB以上のこさの黒えんぴつ（シャープペンシルも可、ボールペンは不可）を使い、こく、はつきりと書きましょう。また、消すときは消しゴムできれいに消しましょう。
- 5 解答時間は、45分間です。解答が早く終わったら、よく見直しましょう。
- 6 机つくえの上の「個人番号シール票」をよく見て、解答用紙に、組、出席番号、男女、個人番号をまちがいのないように書き、個人番号シールを1枚まいはりましょう。

問題は、次のページから始まります。

1

上野さんの学級では、興味をもった人物について調べ、スピーチで紹介し合うことにしました。上野さんは、津田梅子について調べ、メモをもとに資料を画面に映しながらスピーチの練習をしています。次は、上野さんの「スピーチメモ」、「スピーチ」、「資料①」から「資料④」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【スピーチメモ】

「はじめ」

○話題の提示 **〈資料①〉**

- ・新五千円札の「顔」
- ・津田さんの説明

「中」

○津田さんの業績

- ・業績1 **〈資料②〉**  
女子英学塾を設立
- ・業績2 **〈資料③〉、④〉**  
女性の英語教師を育成

「終わり」

○自分の感想

【スピーチ】

（〈資料①〉を示す）みなさん、これを見てください。今度新しい五千円札の「顔」となるのは、津田梅子さんです。私は、どのような業績を残した人なのかを調べてみました。

津田さんは、今から約百年前の教育者で、女子教育の発展に力をつくした人です。日本初の女子留学生として六歳から十一年間、アメリカで教育を受けた津田さんは、女性のための新しい学校を日本につくりたいという夢をもつようになります。津田さんは、社会に出て活躍する女性を育てる教育の実現を目指したのです。そんな津田さんの業績の中から、二つのことを紹介します。

（〈資料②〉を示す）一つは、「女子英学塾」を設立したことです。津田さんは、二十四歳で再びアメリカに渡り、大学で学びます。そして一九〇〇年、三十五歳のときに、日本で学校を設立するという長年の夢を実現しました。これが女子英学塾で、今の大学と同じような勉強をする学校です。当時の日本には、女性の通えるこのような学校がほとんど



上野さん

① **新五千円札の「顔」**  
津田梅子 (1864~1929年)

財務省のホームページより  
<https://xxx.xxx.xx>

② **津田梅子の業績 1**

1900年  
女子英学塾を設立

ありませんでした。

(資料③) を示す) もう一つの業績は、この学校で女性の英語教師を育成したこと。女子英学塾では、学生が英語教師の資格をとることを目標にかかげていました。津田さんは、授業の中で、よく学生たちと英語で議論を交わしました。学生がどんな意見を言っても批判することはありませんでしたが、はつきりと自分の意見を言わないときは厳しく指導をしました。そして開校から三年後、第一回卒業生の半数以上が、女性で初めての英語教師の資格試験の合格者となりました。(資料④) を示す) この地図を見てください。このように、津田さんは、社会に出て活躍する女性を世の中に送り出したのです。

津田さんは、信念をもって夢を成し遂げ、新たな道を切り開いた人だと思います。津田さんの、だれもが社会で活躍する可能性を広げた業績は、素晴らしいと思います。私は、津田さんのこの業績が、新しいお札の「顔」となることにつながったのだと思いました。

資料③

③  
つだうめこ  
津田梅子の業績2  
女性の英語教師を育成

資料④

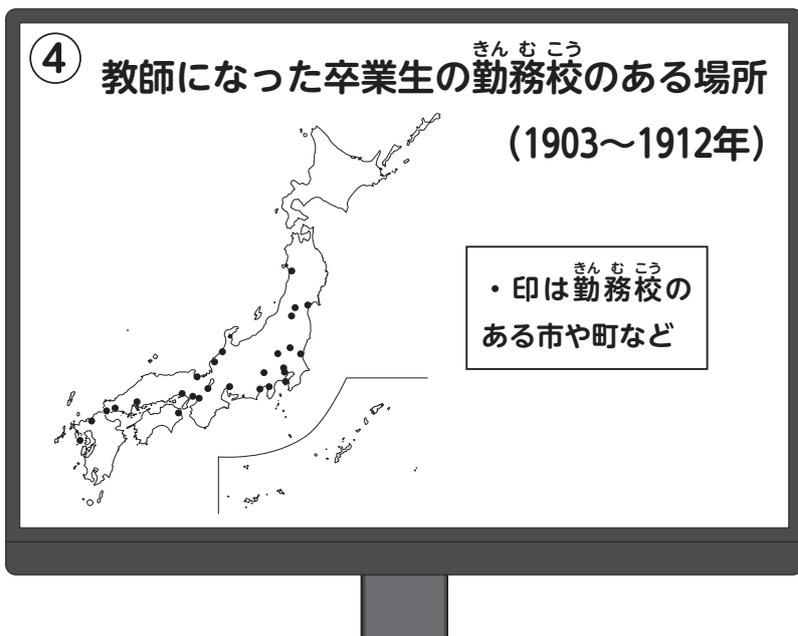
④  
教師になった卒業生の勤務校のある場所  
(1903～1912年)  
・印は勤務校のある市や町など

— 上野さんは、「スピーチメモ」を作り、「スピーチ」の練習をしています。業績を明確に伝えるために、上野さんはどのような構成で話していますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 事実と感想とを区別できるように、「中」で業績、「終わり」で自分の感想を話している。
- 2 感想を印象づけられるように、「はじめ」と「終わり」で自分の感想を話している。
- 3 二つの事実を区別できるように、「はじめ」で一つの業績、「中」でもう一つの業績を話している。
- 4 事実と感想とを関連づけられるように、「中」で二つの業績と自分の感想の両方を話している。

二 上野さんが、「スピーチ」の練習で、「資料②」と「資料③」を使った理由の説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 難しい言葉の意味を示すことで、聞き手に正確に理解してもらうため。
- 2 自分の疑問点ぎもんてんを示すことで、聞き手にもいっしょに考えてもらうため。
- 3 スピーチでは話さない情報を示すことで、聞き手に新たな興味をもってもらうため。
- 4 特に伝えたいことの要点をまとめて示すことで、聞き手の理解を助けるため。



〈資料④〉

三 上野さんは、「スピーチ」の練習をふり返り、  
 話すことにしました。上野さんは、どのように話すか。次の「スピーチの一部」の  
 [ ] に入る内容として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その  
 番号を書きましよう。

[ ]

【スピーチの一部】

（〈資料④〉を示す）この地図を見てください。

このように、津田さんは、社会に出て活躍する女性を  
 世の中に送り出したのです。



上野さん

- 1 黒丸の印（・）の分布が示すように、教師になった卒業生は、一生懸命いっしょうけんめいに学びました。
- 2 黒丸の印（・）の分布が示すように、教師になった卒業生は、日本のさまざまな地域ちいさで働きました。
- 3 黒丸の印（・）の分布が示すように、教師になった卒業生の数は、年ごとに増えていきました。
- 4 黒丸の印（・）の分布が示すように、教師になった卒業生の勤務校は、一部の地域にかたよっていました。

2

相川さんの学級では、身近にある便利なものについて調べています。相川さんは、面ファスナーを選びました。次は、相川さんが読んだ【資料】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【資料】

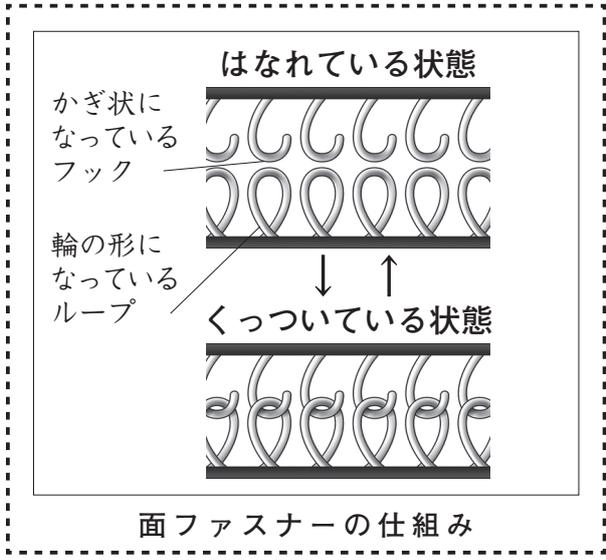
面ファスナー

面ファスナーは、かさやくつなど、さまざまな製品の留め具として使われています。簡単にくっついたり、はがしたりすることができる、とても便利な道具です。

面ファスナーは、一九四八年にスイスで起こったあるできごとがきっかけで開発されました。狩猟のため、愛犬をつれて山に登ったジョルジュ・デ・メストラルは、犬の毛に野生のゴボウの実がたくさんついていることに気がつきました。不思議に思い、その実を持ち帰って顕微鏡でくわしく調べてみると、ゴボウの実は先の曲がったかぎ状のトゲでおおわれていることがわかりました。そのトゲが犬の毛にからみついていたのでした。このことをヒントにメストラルは研究を重ね、

数年後、特殊な素材を使い、面ファスナーを作り出しました。

一九六〇年に、日本ではじめて面ファスナーの製造・販売が始まりました。しかし、そのよさや使い道はなかなか世の中に伝わりませんでした。広く知られるようになったきっかけは、一九六四年十月の東海道新幹線の開業でした。新幹線の座席のヘッドレストカバー（頭をあてる布）の留め具として、面ファスナーが採用されたのです。新幹線の清掃作業の際には、



短時間でヘッドレストカバーを交換こうかんする必要があります。そのため、一つ一つ取り外さな

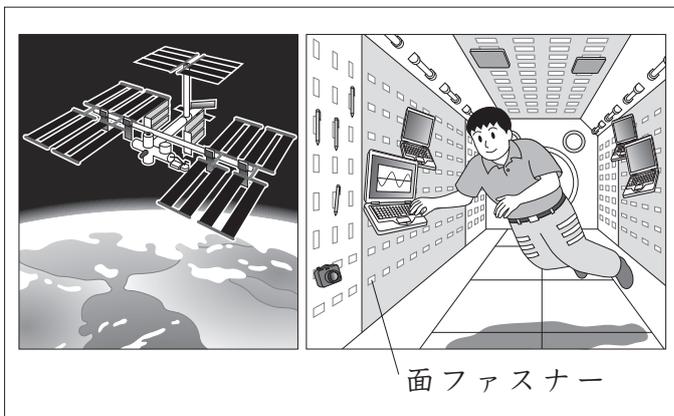
ければならないホックやボタンより留め外しの簡単な面ファスナーの方が、留め具として適あたしていたのです。誰もが注目する新幹線に使われたことで話題となり、その存在そんざいが日本中

に知られるようになりました。

一九八〇年代には、私わたしたちの身近にある製品でも使われるようになりました。財布さいふやかばん、かさなどの家庭用品をはじめ、サポーターや血圧計の巻き付けバンドなどの医療用品にも広がっていききました。布のように柔軟性じゅうなんせいがあり、物や体の形にぴったり合わせることができる面ファスナーが適していたからです。中でも大流行したのが、面ファスナーを使った運動ぐつでした。ひもぐつに比べ、手間をかけずに目的や好みに合わせてしめぐあいを調節することができるようさが支持されたのです。同時に、素材の開発も進められました。現在では水に強く熱にも強い素材で作られているものもあります。

また、しっかりとくっつき簡単にはがすことができる面ファスナーは、宇宙うちゅうでも使われています。地球のまわりを回る国際宇宙ステーションの中は無重力状態のため、物がうかびます。そこで活躍かつやくしているのが面ファスナーです。国際宇宙ステーション内のかべや天井てんじょうには、あらゆる場所に面ファスナーがつけられています。ペンやスプーン、カメラやコンピュータなど、身の回りの全ての物が固定できるようになっています。

一人の気づきから誕生たんじょうした面ファスナーは、人びとの要求に応える形で、活躍の場を広げてきました。身近な生活場面だけでなく、宇宙空間にまで広がり、さらなる便利さが追求されています。



国際宇宙ステーションとその内部

一 相川さんが読んだ【資料】の文章は、何について、どのように書かれていますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 面ファスナーの開発と広がりについて、時間の経過にそって書かれている。
- 2 面ファスナーの長所と短所について、それぞれの事例が交互こうごに書かれている。
- 3 面ファスナーの長所と短所について、一つの事例が取り上げられて書かれている。
- 4 面ファスナーの開発と広がりについて、筆者の問いとその答えがくり返し書かれている。

二 相川さんが読んだ【資料】の  の文の「より」と同じ使い方のものはどれですか。最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

そのため、一つ一つ取り外さなければならないホックやボタンより留め外しの簡単な面ファスナーの方が、留め具として適していたのです。

- 1 音楽会は九時より始まりまます。
- 2 雨天により試合は延期になりました。
- 3 会場へは正門よりお入りください。
- 4 今年の夏は去年の夏より暑いです。





丸山さんの学級では、国語の学習で、気持ちよく学校生活を送ることができるよう、自分の考えを学級の友達に主張する文章を書くことにしました。次は、丸山さんが書いた【文章の下書き】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【文章の下書き】

一人一人が責任をもってかたづけよう

丸山 理子

わたしは、だれもが気持ちよく生活するために、一人一人が責任をもって使った物をかたづけることが大切だと考えます。

みなさんは、休み時間後の校庭にボールが残されたまま<sup>ア</sup>ころがっているのを見かけたことはありませんか。わたしは、ときどき見かけることがあります。<sup>イ</sup>時には、みんなが使っていた一輪車がかたづけられずに残されています。また、遊具置き場では、一輪車や竹馬が決められた所に置かれず、すみの方に<sup>ウ</sup>つみ重ねられています。かたづけわすれたり時間がなくてかたづけられなかったりすることが、<sup>エ</sup>げんいんなのだと思います。<sup>オ</sup>その他にも、遊び終わったらすぐに遊具をかたづけることがむずかしい場合もあるでしょう。それでも、きちんとかたづけければ、わたしたちは気持ちよく遊ぶことができると思います。

きちんとかたづけることが大切ならば、そうじたん当の人などがかたづけければよいという考えもあるかもしれません。確かに、たん当が決まっていれば、その人がかたづけてくれるでしょう。しかし、わたしは、使った人がかたづけるべきだと思います。

遊具だけではありません。そうじの道具や図書館の本も、使った人が元の場所にきちんとかたづけておけば、次に使う人は気持ちよく利用することができますと思います。

学校の中がきれいになると、わたしたちは気持ちよく生活できます。そのためにも、わたしは、一人一人が責任をもってかたづけることが大切だと考えます。

一 丸山さんが考えた【文章の下書き】の構成についての説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

1 自分の主張を最後の段落だんらくに書くという構成にすることで、読み手が主張と事例との関係を考えながら読み進められるようにしている。

2 自分の主張を最初と最後の段落に書くという構成にすることで、自分の主張する内容を強調している。

3 自分の主張を最後の段落に書くという構成にすることで、読み手が主張を予想しながら読み進められるようにしている。

4 自分の主張を最初と最後の段落に書くという構成にすることで、複数の異なる内容の主張を伝えている。

二 丸山さんは、——部の「そうじたん当の人などがかたづけければよい」と考える人を説得するために、【西田さんの話】を用いて【文章の下書き】の……部をくわしく書き直そうとしています。あとの条件に合わせて書きましよう。

【西田さんの話】（遊具置き場のそうじ担当）

毎日、そうじ担当が協力して遊具をかたづけています。でも、そのために時間が足りなくなってしまう、はきそうじやふきそうじまで手が回らなくなることもあります。そんなときは、きれいにそうじができなくて困ります。



西田さん

〈条件〉

- 「そうじたん当の人などがかたづけければよい」という考えに反対する意見と、その理由を書くこと。
- 【西田さんの話】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 六十字以上、百字以内で書くこと。



三 丸山さんは、【文章の下書き】を読み返しています。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1) 丸山さんは、習っている漢字がひらがなになっていた——部ア、ウ、エを漢字に書き直すことにしました。

次の——部アを漢字でていねいに書きましょう。

みなさんは、休み時間後の校庭にボールが残されたままアころがっているのを見かけたことはありませんか。

次の——部ウを漢字でていねいに書きましょう。

また、遊具置き場では、一輪車や竹馬が決められた所に置かれず、すみの方にウつみ重ねられています。

次の——部エを漢字でていねいに書きましょう。

かたづけわすれたり時間がなくてかたづけられなかったりすることが、エげんいんなのだと思います。

(2) 丸山さんは、——部イとオの文について、言葉の使い方かくにんを確認かくにんしています。

次のイの文について、~~~~部「残まされています」の主語として適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

イ 時には、みんなが使っていた一輪車がかたづけられずに残まされています。

- 1 みんなが
- 2 使っていた
- 3 一輪車が
- 4 かたづけられずに

次のオの文について、~~~~部「すぐまに」はどの言葉をくわしくしていますか。適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

オ その他にも、遊あそび終わまったらすまぐに遊あそ具ぐをかたづけまることがむあずあかしい場合もあるであしよう。

- 1 遊あそび終わまったらすま
- 2 遊あそ具ぐをかたづけま
- 3 遊あそ具ぐをかたづけま
- 4 遊あそ具ぐをかたづけま

これで、国語の問題は終わりです。

